

## 学生時代に身に着けておくべき事 第30弾

日本学生卓球連盟 副会長 鈴木一雄

今回のテーマは「日本人の心」を取り上げました。

それは世界中で新型コロナウイルス感染拡大によって一年延期された「2020東京オリンピック・パラリンピック」が間もなく(7/23 開会式)開催される事になりました。

この時期世界から注目をあびる日本、だからこそ我々日本人は「日本人の心」を再確認し改めて見直し、身につけた心を今の時代は大いに世界とのコミュニケーションに活用するべきではないでしょうか。

世界に通用する日本の伝統文化は、「和の心」です、それは社会のルールや礼儀を大切に作る心、長い間、受けつがれてきた日本の文化や自然をうやまう心でしょう、人間の誰もが持っている共感する思いが「心」であり共通する者であり共鳴するものです。

主な事として以下を挙げて見ますと

- 1)相手に「ひかえめにふるまう心」贈り物をする時「つまらない物ですが」と言う心です。
- 2)日本語には、「敬語」という言葉づかいがあります、これは相手や目上の人に不快感を与えず、コミュニケーションをとる日本文化で教育され日本人は身についています。
- 3)日本には「思いやりの心」があります→目配り・気配り・心配りの行動です。
- 4)日本武道(主に柔道・剣道・弓道・相撲道・空手道)は「礼から始まり礼で終る」これは、人間形成を目的に相互を尊重し、敬意を示す事は当然、勝負に勝ったとしても負けた相手を思い、おごらない文化があり日本人に受け繋がられています。
- 5)日本の季節には、特徴的な春・夏・秋・冬と言った「四季」が存在します、その自然を豊かに楽しむそして表現する「俳句・短歌・川柳・和歌」があります、今でも多くの日本人が楽しみ心を豊かにしています。
- 6)同じく日本には昔より身に着ける「しぐさ」と「自然と社会を豊かに表現」する、「茶道・華道・書道・日本舞踊」と言った古来の文化・風習があります、単に礼儀作法だけでなく生き方や精神性を学ぶ習い事でもあります。

世界はこれからも人の交流・文化の交流・経済の交流・情報の交流はますます盛んになる事でしょう、「日本人の心・精神」が少しでも世界平和に影響を与えそして発展に貢献できる様に学生諸君はよく理解して行動に結びつけて頂きたいと思います。